(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号

特表平6-504659

第7部門第3区分

(43)公表日 平成6年(1994)5月26日

(51) Int.Cl.5		識別記号	庁内整理番号	FI
H01Q	19/06		9067 — 5 J	
	11/08		4239 — 5 J	
	15/08		9067 — 5 J	

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 6 頁)

(21)出願番号	特願平4-502758	(71)
(86) (22)出願日	平成4年(1992)1月18日	
(85) 翻訳文提出日	平成5年(1993)7月27日	
(86)国際出願番号	PCT/EP92/00090	
(87)国際公開番号	WO92/13373	
(87) 国際公開日	平成4年(1992)8月6日	(72)
(31)優先権主張番号	91400179.7	
(32)優先日	1991年1月28日	
(33)優先権主張国	欧州特許機構(EP)	(74)
(81)指定国	EP(AT, BE, CH, DE;	
DK. ES, FR, G	B, GR, IT, LU, MC, N	

(71)出願人 トムソン コンシューマー エレクトロニ クス ソシエテ アノニム フランス国 92400 クールブヴォワ ラ ドゥファンス 5 プラス ド ヴォー ジュ 9

(72)発明者 ハリソン、 ダヴィッド
 フランス国 67000 ストラスブール リュー デ ソフェーブル 22(74)代理人 弁理士 矢野 敏雄 (外2名)

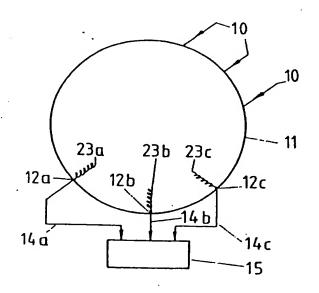
(54) 【発明の名称】 アンテナ装置

P. KR. NO. PL. RU. US

(57)【要約】

本発明によるアンテナ装置は、入射した電波(10)をそれぞれの焦点(12a-c)に焦点合わせするレンズ(11)を含む。前記焦点(12a-c)の近くに設けられ、そして前記レンズ(11)内に集積ないし統合化されることが望ましい、ヘリカルフィーダ(23a-c)は、電波(10)を受信し、そして適切な信号がフィーダライン(14a-c)によって適当な受信機(15)に伝えられる。本発明によるアンテナ装置はよりによるで、フィーダおよびフィーグラインに関する機械的支持が提供される。半球形レンズが用いられるならば、アンテナ装置はより小さくなり、そして特にこの場合には必要なフィーダラインの長さが減少し、さらに受信効率は増加する。本発明による装置は、別々の衛星からの直接的な放送衛星マイクロウェーブを受信するための装置の1部として用いることが望ましい。

L, SE), AU, BR, CA, CS, FI, HU, J



99 🛎

 電磁波を受信および/または透信するためにレンズ(11;21)およびフィード技量(23,33) を含むアンテナ経緯において。

育記フィード發展(23、33)が、ヘリカルコイルとして形成されていることを特徴とするアンテナ辞書。

- 2. レンズ(11,21)が、球形レンズ(11)、 半球形レンズ(21)、円錐形レンズ、ピラミッド 型レンズ、または同様なレンズを含むような、翻求 の範囲第1項記載のアンテナ鉄置。
- 3. レンズ(11,21)が、ルーネベルグ型レンズ または等質型レンズであるような、健求の範囲第1 項または第2項記載のアンテナ議論。
- 4. 貸配フィード装置(23,33)が、エンドファイヤーへリカルアンテナ(23)として、および/またはパックファイヤー(33)へリカルアンテナとして形成されるような、緑水の範囲第1項から第3項までの1つに配数のアンテナ鉄器。
- 5. 解記フィード装置(23,33)が、レンズ(11,21)の表面の内側または外側に設けられるような、資水の範囲第1項から第4項までの1つに記載のアンテナ装置。

アンテナ芸芸

本発明は、マイクロウェーブ信号を受信するために 使用されることが望ましい、レンズおよび電磁波を供 給するための装置を含む、アンテナ装置に関する。

ルーネベルグレンズ及び適切なフィードを含むアンテナ装置は、例えば米国特許第4 531 129号から知られている。そのような装置はマイクロウエーブ信号を受信するための何度放送受の設置の一部として用いることができる。しかしそれらはまた透信装置の一部として使用されることも可能である。例えばG.D.M.ピーラー他によって書かれた、JRE トランスアクションーアンテナ及び伝搬、1954年7月号94頁から98頁にある「パーチャルソースルーネベルグレンズ」と言う文献から、パーチャルルーネベルグレンズもまた使用され得る。と言うことが知られている。

ルーネベルグレンズにおける対称性の故に、反射用の表面(反射器)平面はその中心を通って設けられ、そして電波路はイメージを用いることによってトレースされる。そのような反射器に加えて、その位置が実際のフィードソース及び反射器の方向に 依存するパーチャルソースを作ることもできる。

マイクロウェーブ信号を受信するために、 放物線状 の反射器と放物線状反射器の無点に設けられたフィーダホーンとを含むアンテナ装置を用いることも広く知られている。

米頃特許無4 742 359号によって、前記フ ィーダホーンは2つの終端、それによって第1の終端 がフィーダラインにリンクされている。を持つヘリカ ルアンテナによって要換することができるということ は知られている。以下の説明のためには、前記フィー ダラインが貧犯ヘリカルアンテナの軸に整列されてい ると言うことが理解されている必要がある。そのよう なへりカルアンテナはエンドファイヤーへりカルアン テナ、と呼ばれる形式で製作することができ、そこで は最大の受信される電力条件下においては、終記第1 の終婚における個号電力フローの方向が、交信される 放射と同じ方向となる。そのようなヘリカルアンチナ はまたパックファイヤーへリカルアンテナと呼ばれる ようにも製作でき、ここでは最大の受信される電力条 作下においては、前記集1終端における信号電力フロ 一の方向が、受信される放射と反対方向となる。

前記米国特許においてはアンテナ装置は、反射器と、 一対の特殊をもつコイル、前記コイルは前記反射器の 然点に設けられてヘリカルアンテナの軸が基本的に前 記反射器の軸と合致する。を有する一次ヘリカルアン テナと、を含むように表されている。フィーダライン は外部回路を用いてアンテナ装置と結合しており、その結果、前記一次ペリカルアンテナは、前記反射器からより近い方の終端において前記フィーダラインと結合している。そしてペリカルアンテナの他畑がフリースタンデングであるパックファイヤーペリカルアンテナを表しており、そして前記フィーダラインは同軸ケーブルである。

異なる方向からの、マイクロウェーブであることが望ましい。最つかの電磁波信号を受信するための、コンパクトなアンテナ技術を提供することが本発明の目的である。

これは競求の範囲第1項に記載のアンテナ装置によって実現される。

本発明によるアンテナ鉄 置は、ヘリカルコイルとして 形成されたフィード装置を持つルーネ ペルグ型レンズ であることが登ましいレンズを含んでいる。

フィード装置及び前記フィード装置と接続されているフィーダケーブルに関する自然な機械的支持を与えるということが本発明の利点である。もし半球型レンズが用いられるなら、製造コストは減少し、そしてアンテナ装置はより小さくなる。特にこの場合においては本発明のアンテナ装置は、関ロブロッキングを減少させることによって受信効率を増加させ、そして必要なフィーダケーブルの長さを減少させる。

フィーデング用装置とも呼ばれている辞記フィード

我思か電磁波を受信および透信するために用いるということができるということは注目すべきである。 徒者の場合には、本発明のアンテナ教養はまた透信用としても使用することができる。

本発明は、以下の説明と繋付図面とによってよりよく運無できるようになるのであって、それらの図面は、 第1回はルーネベルグ型レンズとフィーダホーンを また公知のアンテナ経営を示す図であり、

第2回は本発明の第1の望ましい実施例を示す図で あり、

第3回は本発明の第2の望ましい実施例を示す因で ある。

無1 a 図は公知のアンテナ鉄板を示しており、そこでは電波 1 0 が然点 1 2 a に 焦点合わせされるように 年味型ルーネペルグレンズ 1 1 によって 周折させられる。 別点 1 2 a の近くにフィーダホーン 1 3 a がもうけられ、これは焦点合わせさせられた電波を受信し、そして直切な信号を同軸ケーブル 1 4 a によって受信 借 1 5 に等く。

示されていない電波は焦点 1 2 b 、 1 2 c それぞれに焦点合わせされフィーダホーン 1 3 b 、 1 3 c によって受信され、そして適切な信号が同様ケーブル 1 4 b 、 1 4 c によって受信機 1 5 に導かれる。

第1a 図によるアンテナ鉄製の機能はよく知られている。 受信機 L 5 は、適切な変換及び受債鉄置を含む

ような低ノイス^{*} 受信機として構成することが望まし いということも知られている。

第1 b 因はパーテャルソースルーネベルグレンズを 持つ所の公知のアンテナ技能を示している。第1 a 因 におけると同じ機能を持つ部分については同様な参照 番号が与えられている。

電飲 1 0 は年球型のルーネベルグレンズ 2 1 と平坦 な反射器 1 6 の構造によって集点 2 2 s に集点合わせ まれる

示されていない電波は焦点 2 2 b 、 2 2 c それぞれに焦点合わせされ、そしてその結果の信号は受信機 1 5 c 単かれる

電波路の考察から、焦点 | 2 m 、 1 2 b 、 1 2 c の 充全なパーテャルイメージ 2 2 m 、 2 2 c 、 が 形成されると言うことは明かである。

アンテナ同口がフィーダホーン 13 a, 13 b, 13 cによって、及び同軸ケーブル 14 a, 14 b, 14 cによってブロックされているということが知られている。

本発明による望ましい実施例が第2回及び第3回に 示されており、ここでは既に示されたアンテナ設置に おけると同様の機能を持つ部分は同じ参照各号を付し て示されており、そしてそれらは本発明の理解のため に十分な程度だけ説明される。

因面の単純化のために、第2回は電波10を球形ル

ーネベルグレンズ 1 1 の外間だけに示している。しか し育記電数 1 0 は育記レンズ 1 1 の内側にも伝搬する ということに質定すべきである。 放点 1 2 aにはエン ドファイヤーヘリカルアンテナ 2 3 aが設けられ同軸 ケーフル 1 4 aと接続されている。

焦点12b, 12cの近くにエンドファイヤーへり カルアンテナ23b, 23cが設けられ、そしてそれ らは内軸ケーブル14b, 14cそれぞれに接続され ている。

エンドファイヤーへリカルアンテナ23 a. 23 b. 23 cによって受信され

た信号は同軸ケーブル14a、14b、14cによって見信告15に事かれる。 第3団は本発界の第の監ましい実施例を示しており、ここでは電波10は再び明確さのために半球型ルーネベルグレンズ21の外側を仕に示されている。

放点22a、22b、22cにおいて、パックファイヤーヘリカルアンテナ33a、33b、33cが取けられ、そしてフィダーライン24a、24b、24cと結合している。

パックファイヤーヘリカルアンテナ22a,22b, 22cによって受信された毎号は、それぞれフィーダ ライン24a,24b,24cによって受信機15に 乗かれる。

質ましい実施例においては、ヘリカルアンテナ23。

3 3 及びフィダーライン 2 4 は、それぞれのレンズ 1 1、2 1 の中に東根ないしは合化されている。これは、ケーブル路 8 よび/またはヘリカルアンテナ 2 3 、 3 のための関ロが設けられているような、通切な製造工程によって実現される。

別の可能性としては、少なくとも部分的にヘリカルアンテナおよび/またはフィーダライン24が直接的に前記レンズの材料によって取りまかれているということが、考えられる。

両方の場合においては、前記レンズの思折率は正確に補正されており、ここでは例えば様々の屈折率を持つ離系として形成される顕電体材料が巻き付けられているような豊重工理を用いることによって、実践されることが可能である。もし誘電体材料が半球形シェルまたは他の通切な形状のシリーズとして形成されるならば、屈折率の退正な補正もまた可能である。

お記レンズの製造の後にドリルを用いることによってケーブル路を形成するということは、さらに別の可能性としてある。

望ましい実施例の変形は、以下の変更の少なくとも Iつを含むものであって、それらは、

- 一同軸ケーブル14が、使用されているレンズ内に 集積された他の適切なフィーダラインによって代 はまれ:
- 3 よりも多いかまたは少ないフィーダ 2 3 、 3 3

- 一無点12、22がそれぞれのレンズ11、21の 表面の内側または外側に設けられるように、使用 されているレンズの思好率が変化を持ち、それに よってそれぞれのフィーダ23、33の場所が直 切に変化し:
- ー それぞれのレンズ 1 1 , 2 1 に集複された、 分されているフィーダ 2 3 , 3 3 の近くに、 付加的なフィーダが前記レンズの表面の外側に配置され;
- 全または単球型ルーネベルグ型レンズの変わりに、 例えば円筒型ルーネベルグ型レズのような他のレ ンズが用いられ、それによってフィーダ 2 3 。 3 3 の、より容易な配置および/または異なるビー ム形状が速成され:
- 一円離形状、ピラミッド形状、または何様なルーネベルグ型レンズも使用可能である。このような場合には金属である反射器 1 6 の形状が、 それが少なくとも受信されるべき電波 1 0 によって過過されないレンズの側面の 1 つを覆うような方法に変化することが望ましい;
- 一使用されるレンズの屈折率は、異なる周波数を持ついくつかの電波の受信が理想化されるような方法で変化し;
- ーレンズ全体を通して屈折率が一定であるような同 質型レンズも体用でき:

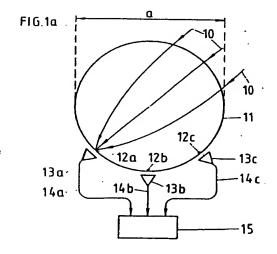
-本発明のアンテナ鉄道は、フィーダライン14, 24が通切な送信鉄道に接続されていれば送信用 アンテナ鉄道として使用することもできる。

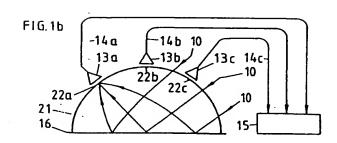
本見明によるアンテナ競技は、入射した電波をそれぞれの焦点に無点合わせするレンズを含んでいる。 辞記 点点の近くに設けられて、 解記レンズに無視されることが望ましいヘリカルフィーダは、 電波を受信し、そして適切な信号がフーダーラインによって適当な受信機または増幅数または前間環構物、または同様な検護に多かれる。

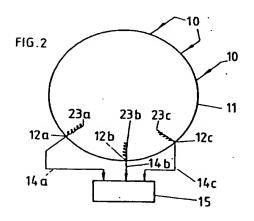
本発明によるアンテナ 鉄 観を用いることによって、 フィーダ およびフィーダ ラインに関する 機 域的な支持 が進成される。

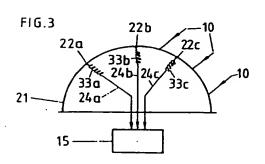
もし半球形レンズが使用されるならば、アンテナ機 間はより小さくなり、そして特にこの場合には必要と されるフィーダラインの長さが短端され、そして受像 効率は新知の装置に比較して増加されることが可能で ある。

本免別による装置は別々の増呈から直接的に放送者 限マイクロウェーブを受信するための装置の一部とし て用いられることが望ましい。









求の範囲

補正書の翻訳文提出書 (特許法第184条の8)

平成 5年 7月27日

特許庁長官股

- 国際出版委号 PCT/EP92/00090
- 2. 発明の名称 アンテナ数量
- 特許出源人
 - 住 所 フランス国 92400 クールブヴォワ ラ ドゥ ファンス 5 プラス ド ヴォージュ 9
 - 称 トムソン コンシューマー エレクトロニクス ソシ エテ アノニム
 - 代表者 ゲスラー, ハンスーイェルク
 - 団 祭 フランス国
- 4. 代理人〒100
 - 住 所 〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号 新東京ビルデング553号電話(3216)5031-6番
 - 矢 野 敏 雄 (次) 氏 名 (6181) 弁理士
- 5. 補正書の提出年月日 平成 5年 5月 6日



- 6. 近付書類の目録
 - (1) 補正書の翻訳文

1 1

- 1. 電磁波を受信および/または迭信するために、レ ンズ(11,21)および、エンドファイヤーおよ び/またはバックファイヤーヘリカルアンテナとし て形成されたフィード裁量(33)を含むアンテナ 在世において、
- 育記フィード装置(33)は、少なくとも部分的 に該レンズ(21)の表面の内側に設けられること を特徴とするアンテナ鉄道。
- 2. レンズ(11。21)が、ルーネベルグ型レンズ または毎貫型レンズであるような、鯖水の毎回第1 項記載のアンテナ装置。
- 3. レンズ(11)が、球形レンズ(11)または円 **竜形レンズであるような、請求の範囲第1項または** 第2項記載のアンテナ鉄度。
- 4. レンズ(21)が、半球形レンズ(21)であり、 そして前心フィード鉄道(33)がパックファイヤ ーモードで得くような、 請求の範囲第1項または第 2 項配数のアンテナ鼓量。

			Sandard Application Pro-	PCT/EP 92/00090
			American Application of Marie Communication of the	
	5 H01Q19/0	6; HO1Q25/00	Constitution and SPC	
& PRODE I	EMICIED			
		Minimum Dunn		
Charles	. System		Outside System	
Int.C1,	5	H01Q		
			one (Philosop Description) on Experted to the Philip Secribed*	
		D TO IK BELEVANT		
	Creation of D			Balmen or Clare Faul
•		487 413 (SHORES) 30 Decume 4, 11se 14 - 11se 1		1-5
٠	see page	849 438 (LICENTIA) 29 (5, 11nm 27 - page 6, figures 1,3,5		1-5
•		134 122 (LICENTIA) 17 1 4, 11mm 9 - 11me 34;		1
^		738 549 (LICENTIA) 1 M 6 6, 11no 23 — page 7,		1-3,5
^	DEFENCE Septemb	908 932 (THE SECRETARY IN HER BRITANNIC MAJE: nr 1989 lws 1-19; figures 4-6	OF STATE FOR STY,S GOV.) 21	1,5
			-	
* =			The important of the factor of the second of	
		e deutes as privates descript or the particular days of market trans (or quarter) and (or quarter), and, existences or		
			·	
P. COITE				
D		PRIL 1992	1 8. 64.	
-			Square or Assessment College	-10-4

D. MICH	INTERCOPPEDICIES TO BE RELEVANT (CONTINUES FROM THE SECOND ENDERT)	
(may .		
	Onetwo of Democrat, one behavior, state appropriate, of the printing purely a	Advance of Class Page
1		i
1	•	}
A	US,A.4 D14 D28 (COME ET AL.) 22 March 1977 see abstract; figure 1	4
	see abstract; figure 1	1.
1		1
1		Í
		(
- 1		1
- 1		
		1
		1
- 1	•	
- 1		1
- 1		l .
1		i
i		ŀ
- 1		ŀ
		1
	•	§ .
- 1		1
	•	1
		j
- 1		
1	2	
- 1		
- 1		'
- 1		
- 1		
- 1		
- 1	•	
- 1		
- 1		
- 1		
- 1		
	1	
- 1	•	
1		
1		
1		
- 1		
- 1		
- }		
- 1	į	
- 1		
ı		

- 5 --

EP \$200090

This owner date the potant fields constant velocing or the potant discussions white its dis direct-quartered immediated sharely report. The constant of an economic is the Program France Cellin (EEF Ris on The Company France Cellin is to a conjugate which for their productions while any according to the fire received all indicates the Cellin in the Cellin indicates the Cellin indicates

And the second second			Colored Barriery (Colored Barriery)	~-
US-A-3487413	20-12-69	None		
X-A-2841438	29-05-80	Hose		
T-A-1134122	17-03-63	None		
Z-A-2738849	01-03-79	Nose		
O-A-8908532	21-09-89	AU-A- G9-A- JP-T-	3190689 2233503 3502865	09-10-89 09-01-81 27-06-91
S-A-4014028	22-03-77	None		

BIST AVAILABLE CON